



知ってますか「子ども食堂」

第36号

④食後に、金本さん(左から2人目)と「とりで」遊ぶ子どもたち
⑤「とりで」の子ども食堂で、唐揚げやサラダを受け取る子どもたち



行動自由 親も息抜き

NPO法人「とりで」(岩国市)

岩国市のNPO法人「とりで」は、夏野菜カレーと一緒に食べながら、大人が子どもに尋ねています。広島YWCA(広島市東区)が東区若草町の広島主教会で7月から始めた子ども食堂。「カレーパーティー」として、毎月第4火曜の午後5時半から7時半まで開いています。

子どもは部屋でゲームをしたり近くの公園で遊んだりして自由に過ごします。理事長の金本秀雄さん(33)は「子どもが主体性を持てる場になりたい。親も来ていい。息抜きになれば」と願っています。かつて児童養護施設で働いていた頃、家庭の抱える問題を早めに解決できないか考えていました。この12月、食堂を開始。生活に困っている人にはさらにサポートします。今後は食堂を運営する専門スタッフを雇い、回数や場所を増やしたいそうです。

中学生以下は無料、高校生以上は500円が必要です。小学1年の長女(6)と参加したひとり親女性(44)は「娘はいろいろな大人に見てもらって思いっきり遊べる。家で一緒に料理を作る機会も増えた。ひとり親は孤立しがちなので、助けを得られる場があるのはありがたい」と話していました。(高1上岡弘実)

とりで ☎082-7(35)6509

広島市社会福祉協議会福祉課長

鈴川千賀子さんに聞く



子ども食堂の役割と課題について話す鈴川さん

「ななめの関係」孤立防ぐ

誰でも気軽に立ち寄れる場所になることです。「食堂に行くから貧困家庭の子」という偏見が持たれなくなるからです。教員でも親でもない第三者の大人だからこそ、子どもは悩みを打ち明けやすい。「ななめの関係」をつくりアットホームにするのが理想です。(中3鬼頭里歩)

子ども食堂の役割や課題は何でしょうか。広島市社会福祉協議会(中区)福祉課長の鈴川千賀子さん(59)に聞きました。

「なぜ必要なのでしょう。約10年前から、派遣社員やパートなど不安定な雇用形態で働く人が多くなりました。収入が減り生活が苦しい家庭が増えています。さらにひとり親家庭も多くなり、親が忙しくて食事が作れない、または子どもだけで食べる傾向が高まっています。家族でコミュニケーションを取る時間が少なくなっているのです。衛生面には細心の注意が必要ですが、1力所でも食中毒を起すこと、全国で運営できなくなる可能性があります。また、定期的な開催も大切です。大人の都合で開く日を変えるのは好ましくありません。理想の姿は、

料理囲み交流 心身サポート

会話弾んで 居心地良く

広島YWCA(広島市東区)

「おいしい?」「習い事してるの?」。和やかな雰囲気の中、夏野菜カレーと一緒に食べながら、大人が子どもに尋ねています。広島YWCA(広島市東区)が東区若草町の広島主教会で7月から始めた子ども食堂。「カレーパーティー」として、毎月第4火曜の午後5時半から7時半まで開いています。

今後は学習支援も考えています。代表理事の中木風子さん(35)は「保護者と子ども、どちらにも信頼してもらえる人間関係をつくりたい。居心地の良い場所にしてもっと広めていきたい」と意気込みます。誰でも利用できます。参加費は18歳以下100円、19歳以上300円。初めて訪れた井口台小6年の田辺紗彩さん(12)＝西区＝は「知らない人とご飯を食べたり、おしゃべりしたりできて、交流を深められる。また来たい」と喜んでいました。(高1上岡弘実)

広島YWCA ☎082(258)4878 (水・木・金曜の午前10時～午後4時)



広島YWCAの子ども食堂で、中木さん(左端)とカレーライスを食べる子どもたち

《広島市内の他の子ども食堂》

※市の「ひとり親家庭等居場所づくり事業」で補助を受けている2団体

西中国キリスト教社会事業団	西区小内町1の13の3 ☎082(232)4274 ・第2・4金曜の午後7～9時 ・中学生以下は無料、高校生300円、保護者200円	若者活動サポートセンターあおぞら	安佐北区可部4の10の8の201 ☎082(562)2451 ・毎週木曜に開く無料塾「もちのき」の時間を利用して月2回、午後6～7時 ・無料塾に参加する小学3～6年生が対象で1人100円
開催日、参加費	《担当の須磨勇記さん(37)から一言》 家では時間がなくて作れない手の込んだ料理や、子どもが好きな料理を、手作りしています。温かいご飯を用意して待っているの、気軽に連絡してください。	開催日、参加費	《共同代表の増谷郁子さん(60)から一言》 豪華ではありませんが、手作りの温かい料理を、みんなで一緒に食べて話しましょう。お金に困ってなくても、1人でご飯を食べる人もどうぞ来てください。

(中2伊藤淳仁)

(高1上岡弘実)